

北海道の民家

～漁家建築を中心として～



一般公開

北海道では、昭和 45～46 年実施の民家緊急調査が最初の本格的調査であった。その結果は、昭和 47 年『建造物緊急保存調査報告書』(北海道教育委員会)として刊行されている。調査・報告書作成にも関わった講演者は、北海道日本海沿岸の漁家建築(主に鯺漁家)調査研究にたずさわり、小平町旧花田家番屋(重要文化財)の保存修理については現在も関わっている。

本講演では、北海道独特の「番屋建築」の形成過程、下ヨイチ運上屋(国史跡)、旧花田家番屋、旧余市福原漁場(国史跡)、寿都町橋本家、旧歌楽佐藤家漁場(国史跡)、保存活用事例から旧ヤマシメ福井家番屋(鯺伝習館ヤマシメ番屋)、はまます郷土資料館(白鳥家番屋/石狩市指定)、焼尻郷土館(旧小納家/北海道指定)、旧留萌佐賀家漁場(国史跡)、にしん漁場建築(旧田中家/北海道指定)、鯺御殿とまり(旧川村家住宅・旧武井家客殿/泊村指定)、北海道初のリゾートホテルを目指して移築された旧猪俣家(銀鱗荘/登録有形文化財)などを中心に報告します。



写真上：花田家番屋修理前、下：旧花田家番屋(ともに角氏提供)

講師：角 幸博 会長

北海道大学名誉教授・博士(工学)・一般社団法人日本民俗建築学会会長・特定非営利活動法人歴史的地域資産研究



機構代表理事・一般財団法人北海道文化財保護協会理事長・公益財団法人博物館網走監獄館長/第 44 回札幌芸術賞、日本民俗建築学会竹内芳太郎賞、札幌市市政功労者/50 年以上にわたり北海道近代建築史・建築家・建設業者・建築関連職人、南サハリンにおける日本の建設活動、歴史的建造物の保存と活用、歴史を生かしたまちづくり・地域づくりの調査研究に関わる/著書：『マックス・ヒンデルと田上義也一大正・昭和前期の北海道建築界と建築家に関する研究一』(私家版)、札幌の建築探訪』『道東の建築探訪』『道南・道央の建築探訪』『旭川と道北の建築探訪』『函館の建築探訪』(北海道新聞社(共著))ほか。



半蔵門線
都営三田線
都営新宿線

日時 2024年 9月16日(月祝) 15:00-17:00
講師は札幌からオンラインで発表します

主催 一般社団法人 日本民俗建築学会

無料 オンライン (Zoom) 視聴

会員以外の方は、以下をメールでお送りください。申込時に URL をお知らせします

「氏名・人数・アドレス・電話番号」を明記し
件名「民俗建築学会研究会視聴申込」で
nagune2000@yahoo.co.jp へメール



有料 会場 (大型モニタ) での視聴

日本出版倶楽部 401 室
東京都千代田区神田神保町 1-32

予約不要・会場にお越しください
研究会費 500 円 (学生無料)